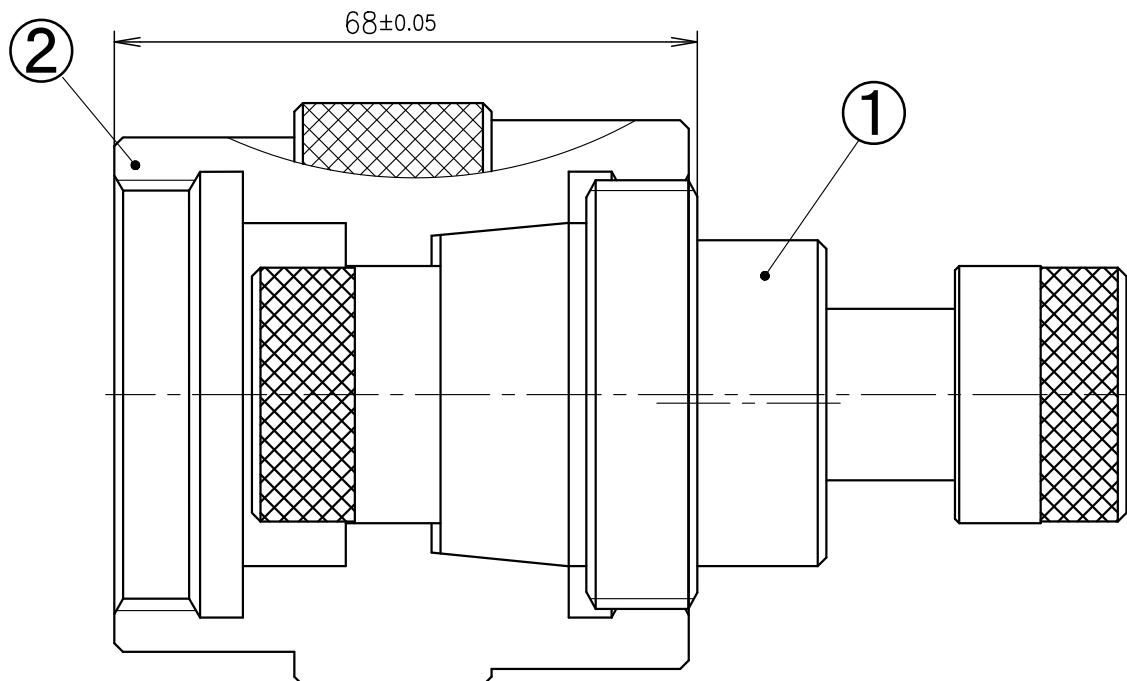


公 表

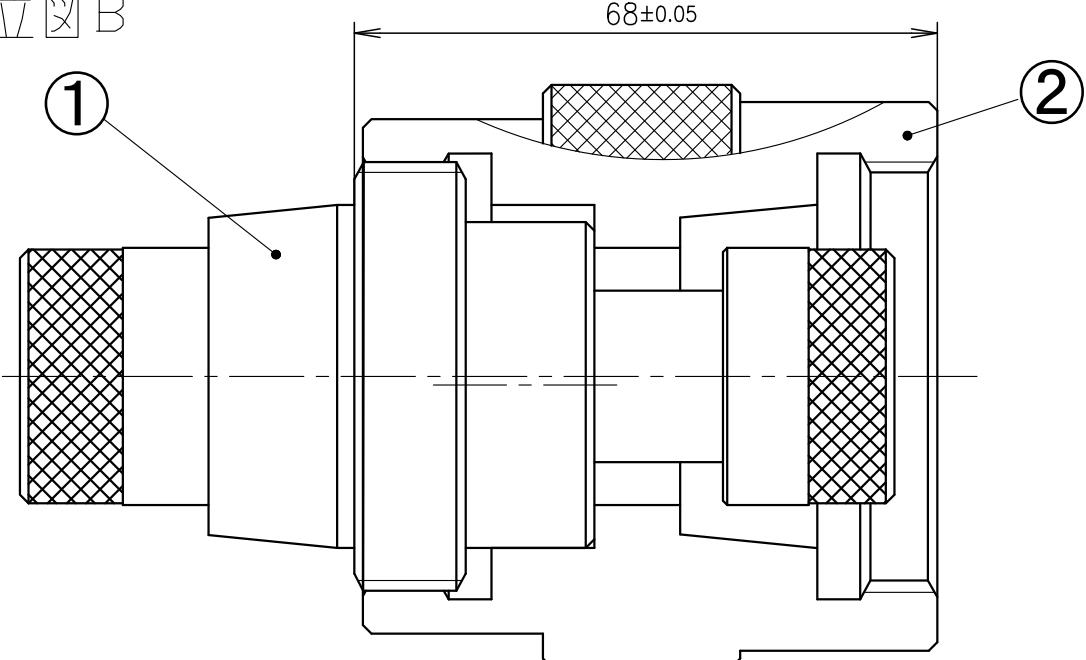
第13回若年者ものづくり競技大会「旋盤」職種 競技課題図(組立図)

組立図A

本課題図は、三角法準拠による競技用課題です



組立図B



課題仕様

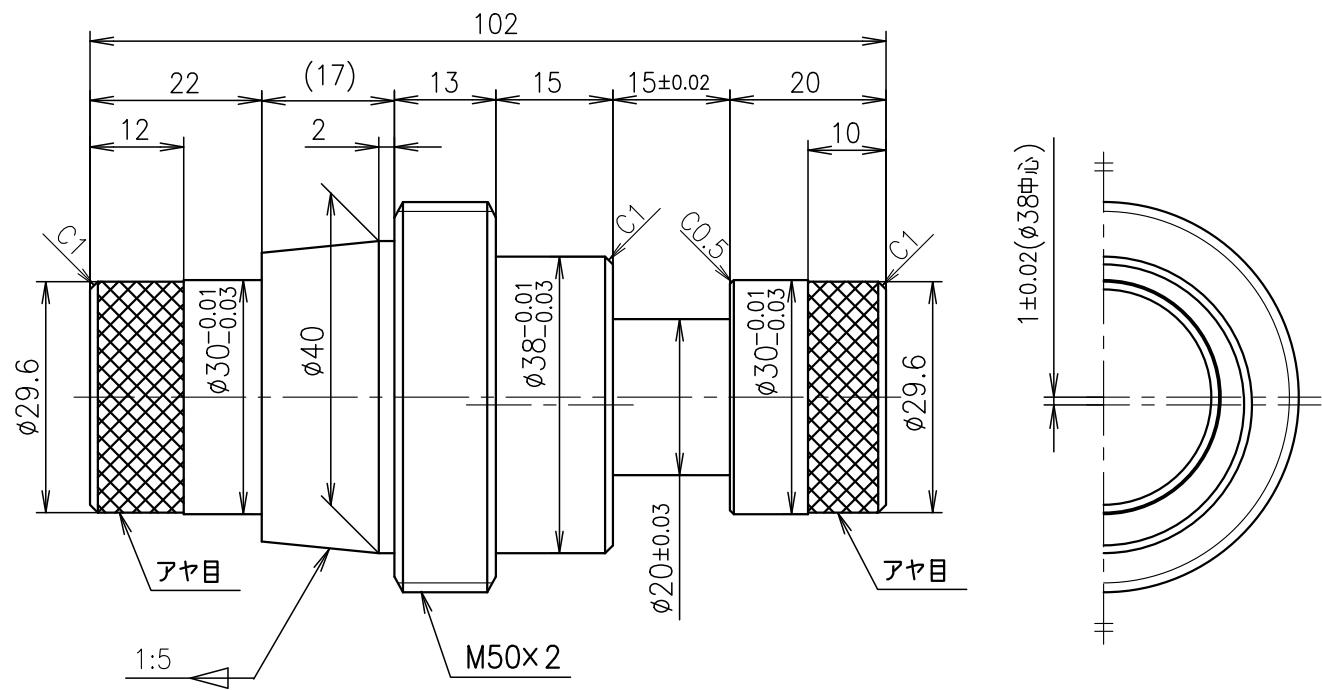
- (1) 指示のない各稜は糸面取り (C0.1~0.3) をすること
- (2) 指定公差以外は、普通公差JIS B 0405-m (中級) とする
- (3) 部品①の両軸端には、センター穴が残ったままの状態でもよい
- (4) すみ部にはR0.5以内のRがついてもよい
- (5) テーパは部品①と②を組合せて、あたりを出すこと
- (6) ねじの切り始めと終わりは30° または45° の面取りをすること

公 表

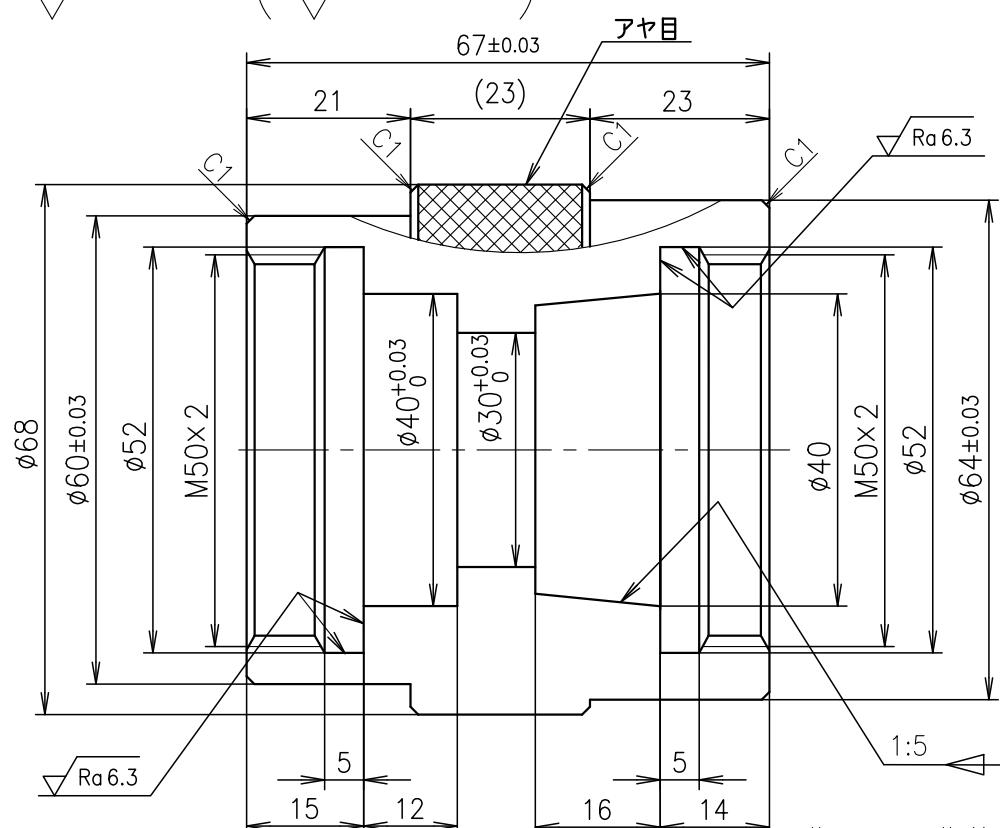
第13回若年者ものづくり競技大会「旋盤」職種 競技課題図(部品図)

本課題図は、三角法準拠による競技用課題です

① $\sqrt{Ra} 1.6$



② $\sqrt{Ra} 1.6$ ($\sqrt{Ra} 6.3$)



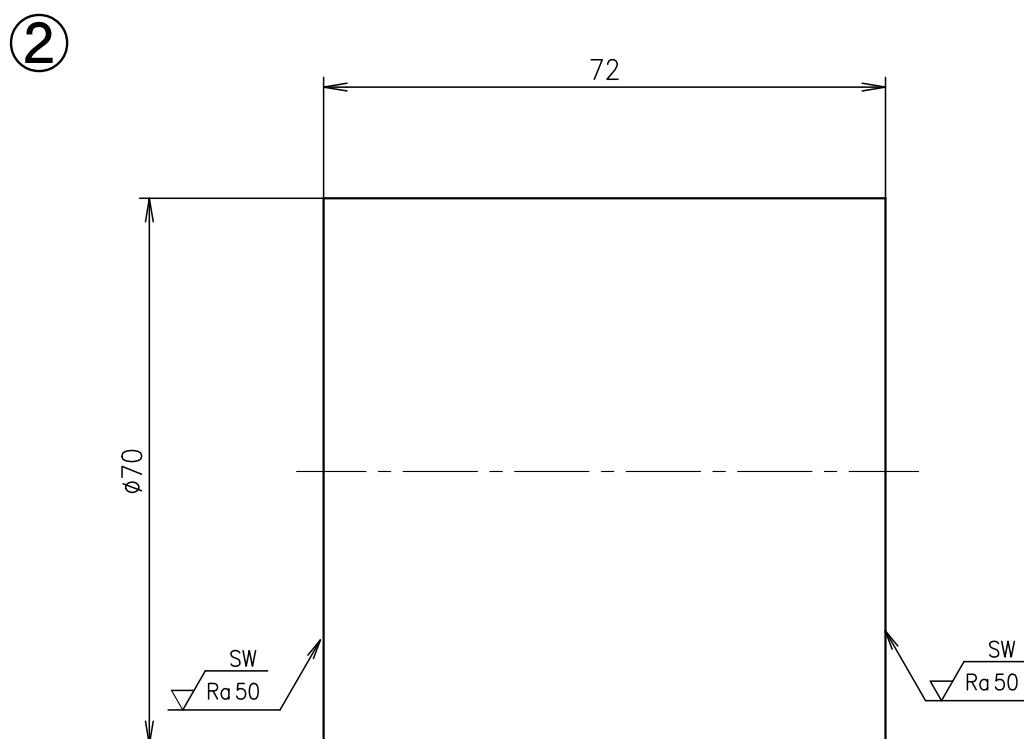
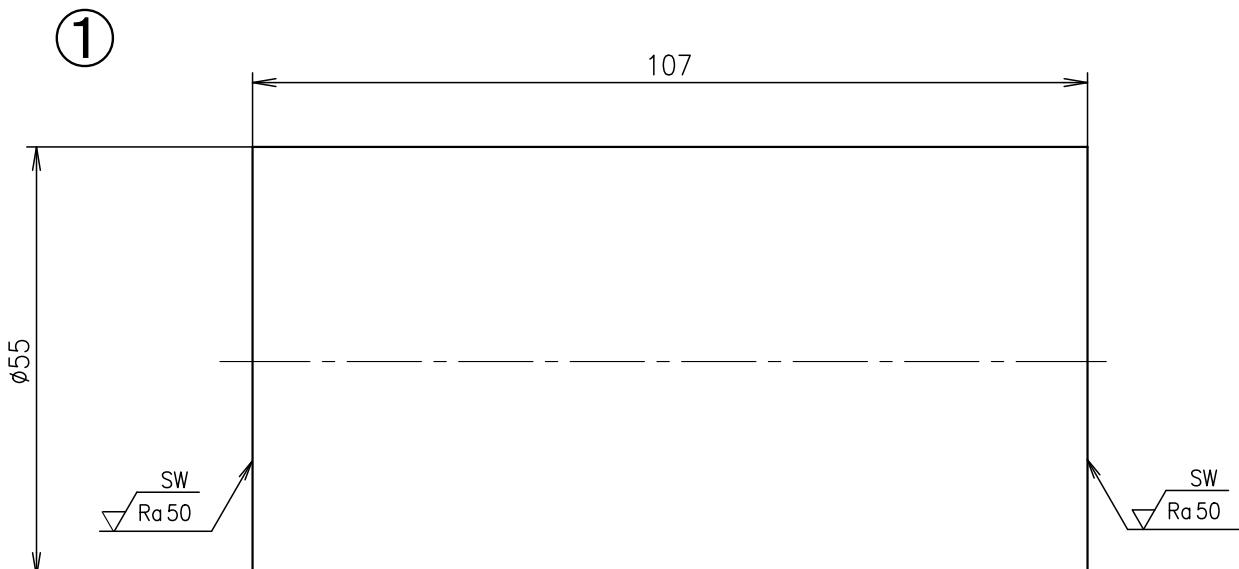
指示なき公差は、
普通公差JIS B 0405-m(中級)

公 表

第13回若年者ものづくり競技大会「旋盤」職種 競技材料図

本課題図は、三角法準拠による競技用課題です

1. 外径は黒皮であること
2. 両端面はノコ切断であること
3. 材質はS45Cであること



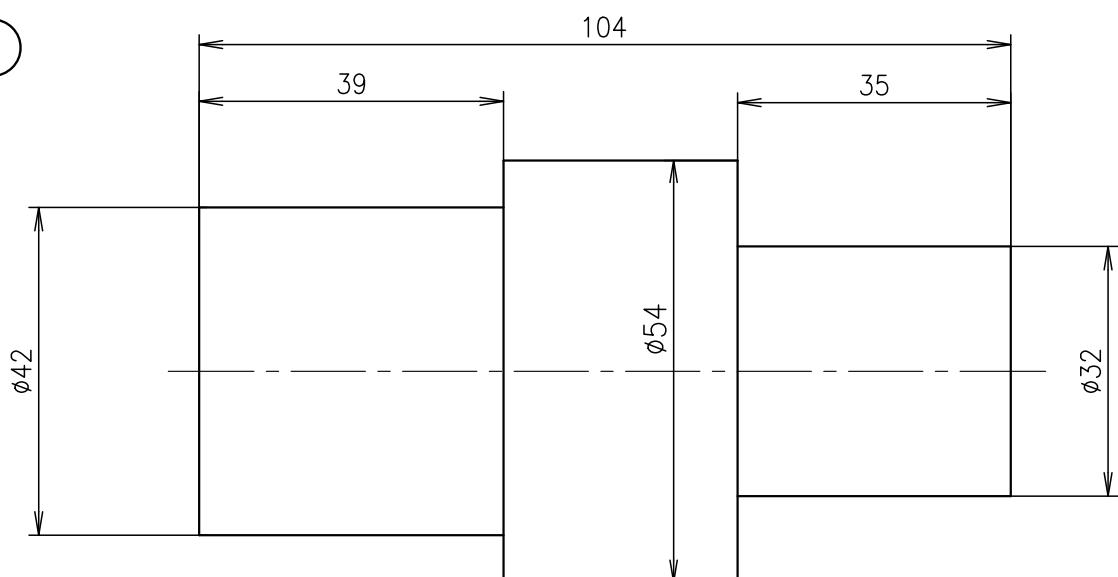
公 表

第13回若年者ものづくり競技大会「旋盤」職種 試し削り図

本課題図は、三角法準拠による競技用課題です

1. 公差は±1 mmとする
※工程上都合の悪い場合は下図の寸法まで加工しなくてもよい
2. 加工部分の仕上げ面精度については不問とする
3. 各角にはC1程度の面取りをしてよい
4. 削った部分の軸心位置については不問とする（偏心可）
5. 部品へのセンタ穴加工は不可とする

①



②

